

子ども / 中高生 / 保護者の各世代に対応を



平日の夜間にも関わらず、熱心な保護者の皆さまにお集まり頂きました。感謝申し上げます。

**今後も忌憚のない
ご意見をお願いします**

お忙しいなか、平日の夜間という時間にも関わらず、お集まりくださいました。ありがとうございました。子育て世代の声は未だに向けた基礎であります。今後も忌憚のないご意見をお待ちしております。

良い点・課題点

先に実施した一般市民版や高校生版と同様に、まずは観音寺市全体の良い点と課題点を聞きました。子育て世代ならでは視点も大事にしながら、計画を進めて参ります。

観音寺市全体の良い点・大事にすべき点

うどん最高
美味しい安い通い
食材が豊富・食事が美味しい・食育がし易い
レタス、いりこ、ちくわ、おりい、梨など唯一無二
観光地が多い
観音寺市はアニメ「結城友奈は勇者である」の舞台
美しい海・自然
海・山・田園・文化その全てが揃っている

自然災害が少ない
瀬戸内式気候のため温暖、津波の心配も少ない

観音寺市全体の課題点・変えるべき点

祭り・伝統文化
ちょうど祭りなど地域に根付いた文化が色違い
→新参加者が入りにくい
とくに祭コミュニティ
行政の情報発信が下手
三豊市に比べて何をしているのか分かりにくい
変化を嫌う
保守的
美術館等の感受性を育む施設がない
近隣の丸亀市や坂出市にある美術館は全国的な知名度と集客を誇る
女性視点の授乳おむつ対応が貧弱
最新の大型商業施設のような授乳おむつ替えスペースを備えた空間が少ない

開催日 2023年（令和5年）11月17日金曜日夜
場所 観音寺市役所 会議室
参加者数 10名
実施方法 道の駅基本構想（概要版）を説明し、5名のグループごとに雑談して頂き、「どんな話題が出ましたか？」と聞いて得られた主な回答が上述の通りです。
なお、当日に会場にて出された意見を可能な限りそのまま掲載しており、すべて個人の意見・感想です。個別商品名等もそのまま掲載しています。

道の駅に

全天候型多目的広場でコミュニティ

雨の日に遊ぶネタ欲しい

目玉になるシンボルが必要
食べ物・商品・景観

習い事が出来る体験型プログラム
お料理教室・農業・漁業など

道の駅=点を
街全体=面へ広げる

体験は子どもの感性を育む

BOAT KIDS PARK Mooovi まるがめがライバル

粉ミルク対応お湯サービス
清潔なおむつ替えスペース

幼児・小学生

一時預かりキッズスペース

小学生は遊びにいい
幼児と馴染まない、大人しくもない

保護者

一時的に子育てから開放

子育て疲れを癒やしてくれる温泉

中学・高校生

デート・自主勉強

自分たちの世界

女子トイレの中に男の子用便器など
中四国ナンバーワンの子育て対応トイレ

が欲しい



子育て世代にとってバイクの集団は怖い存在
駐車場は子どもの事故が多く、注意が必要

道の駅新聞 子育てパパママ版

開催日：令和5年（2023年）11月17日金曜日
発行元：観音寺市 政策部プロジェクト推進課

香川県観音寺市は交通アクセスに恵まれた立地を活かして、中四国最大級の新しい道の駅「かんおんじ」（仮称、以下「道の駅」）を計画しています。現在は、ちよさ会館（豊浜町）付近を建設候補地として基本構想をとりまとめ、具體的な検討を進めています。道の駅に市民から大きな期待が寄せられる一方で、様々な意見があることも事実です。人口減少と少子高齢化が急速に進むなかで、いちばん大事なことは「これからもずっと観音寺市に住み続けたい」ということになります。限られた資源・人材・財源で、未来を拓くには、自と民の連携が欠かせません。そもそも行政は商売が得意ではなく、出来ることにも限界があります。道の駅では市民の積極的な参加、とくに「自分ごと化」が不可欠です。そこで、市民が道の駅に対して本当に望んでいるコトやモノはなんにか？直接教えて頂きたく、ワークショップを子育て中の保護者を対象に実施しました。

観音寺市は住みやすくて、子育てもしやすい、と感じて頂けるのが子育て中の保護者の皆さまです。

道の駅は、令和10年度（2028年）の完成を目指して、今現在は基本計画を進めています。観音寺市では子育て中の皆さまが、観音寺市は住みやすく、子育てもしやすい、と感じて頂けたい。道の駅は、観音寺市にとって満足度アップと近接自治体との差別化のための千載一遇の好機であり、とりわけ子育て中の保護者の皆さまからのお問い合わせはとても大事です。